

2023年度（後期） リゾーム型人材育成プログラム 選抜学生一覧

| 所属大学 | 所属研究科 | 名前 | 研究題目 |
|--------|----------------------|-----------------------|--|
| 大阪市立大学 | 医学研究科 | 青木 弥生 | 剖検例における感染症診断の新規マーカー探索と実務応用 |
| 大阪市立大学 | 医学研究科 | 岡井 孝諭 | マラリア低度流行地域における集団投薬後に認められた、マラリア伝播再興に寄与した原虫集団の特定 |
| 大阪市立大学 | 医学研究科 | 薩仁 朝格吐 | 緑膿菌における病原性抑制メカニズムの解析 |
| 大阪市立大学 | 経済学研究科 | 周 政 | 所得不平等と経済発展 |
| 大阪市立大学 | 経済学研究科 | 楊 檣 | 少子化における女性就職状況の日中比較 |
| 大阪市立大学 | 工学研究科 | 陳 瑜 | 支圧接合と摩擦接合を用いたハイブリッド継手に関する研究 |
| 大阪市立大学 | 生活科学研究科 | 杉田 菜花 | 生活史調査を新たに導入した複合知で若者の就労課題解決に挑む社会政策研究の創造 |
| 大阪市立大学 | 文学研究科 | 村上 遥香 | 1980年代の東ドイツコブス県におけるベトナム人契約労働者の受け入れについて |
| 大阪市立大学 | 文学研究科 | 車 明釦 | 日中剣戟映画と武侠映画の対照研究 |
| 大阪市立大学 | 理学研究科 | 篠原 従道 | タンポコオロギの幼虫休眠制御機構の分子・神経基盤の解明 |
| 大阪府立大学 | 工学研究科 | 酒井 貴行 | 柔軟構造をもつ宇宙機の高精度姿勢制御に関する研究 |
| 大阪府立大学 | 工学研究科 | 相馬 永 | X線分光を通じた物質の電子状態の理論研究 |
| 大阪府立大学 | 工学研究科 | 西辻 凌輔 | プラズモニック結晶センサーの機能拡張及び高感度化に向けたデバイス表面物性の分析 |
| 大阪府立大学 | 工学研究科 | 甄 誠 | 全個体亜鉛負極二次電池用新規ヒドロゲル電解質の開発 |
| 大阪府立大学 | 人間社会システム科学研究科 | Tran Thi Minh Ngoc | Investigation of PM2.5 characteristics, source apportionments and health assessment in Ho Chi Minh city, Vietnam |
| 大阪府立大学 | 人間社会システム科学研究科 | 森本 優洸聖 | 行動や意思決定に対する意識の機能についての心理学的検討 |
| 大阪府立大学 | 人間社会システム科学研究科 | 鈴木 ちひろ | ケアと私たちの語り |
| 大阪府立大学 | 人間社会システム科学研究科 | 真鍋 里彩 | 教育福祉の人間観の探求 -ホリスティック概念に着目して- |
| 大阪府立大学 | 生命環境科学研究科 (獣医学専攻) | 吉田 拓海 | 培養材料の開発と胚盤胞補完法によるネコ胚性幹(ES)細胞から生殖細胞への分化 |
| 大阪府立大学 | 生命環境科学研究科 (獣医学専攻) | ABOUOUF AHMED MOHAMED | Prevalence of mobile colistin resistance (mcr) genes in the domestic and imported chicken meat in the retail market of Japan |
| 大阪府立大学 | 理学系研究科 | 谷口 直哉 | キラルリン酸-ホスフィン複合配位子を導入した Au(I)錯体の合成と触媒反応への応用 |
| 大阪府立大学 | 理学系研究科 | 宮崎 祐輔 | プロパルギル誘導体の高選択的精密合成を可能にする革新的な分子変換法の創出 |
| 大阪公立大学 | 医学研究科 | チャン ティ トウイ リン | Develop a novel anti-inflammatory drug based on the anti-inflammatory function of LAP1 |
| 大阪公立大学 | 医学研究科 | 中井 槇也 | 空間認知を支える「脳内地図」 |
| 大阪公立大学 | 医学研究科 | ブ タイ フン | The Role of EMP1 Proteins in Nonalcoholic Steatohepatitis |
| 大阪公立大学 | 医学研究科 | グエン ツック ヴィエン | The Role of Senescence Hepatic Stellate Cells in Liver Cancer. |
| 大阪公立大学 | 医学研究科 | 吉田 優矢 | 比較生物学的手法による、加齢に伴う遺伝子発現変化の生体における有益性の検証 |
| 大阪公立大学 | 医学研究科 | 中釜 幸恵 | ヘルケアのモバイル化による母子アウトカム改善研究 |
| 大阪公立大学 | 医学研究科 | 範 燦鋒 | Molecular biology study of strong stromal response in CMS4 colorectal cancer and gastric scirrhus cancer |
| 大阪公立大学 | 経営学研究科 | 屋嘉比 潔 | 決算発表の信頼性に関する自主規制は必要であるか |

| 所属大学 | 所属研究科 | 名前 | 研究題目 |
|--------|-------------|--------------|--|
| 大阪公立大学 | 経営学研究科 | 福田 雄介 | 我が国会計規制は、どのように形成され、変容したのか |
| 大阪公立大学 | 現代システム科学研究科 | 小黒 拓郎 | 数学の証明学習における認知的・メタ認知的プロンプトの効果 |
| 大阪公立大学 | 現代システム科学研究科 | 李 瀟瑩 | 児童養護施設における心理コンサルテーションのプロセス評価尺度の開発 —施設心理職とケアワーカーの協働に向けて— |
| 大阪公立大学 | 現代システム科学研究科 | 本田 優子 | 急性期病院の医療ソーシャルワーカーによる反抑圧実践 (anti-oppressive practice : AOP) の可能性 |
| 大阪公立大学 | 現代システム科学研究科 | 山村 裕大 | 箱庭療法のプロセスと治療的機序：制作者の主観的体験と生理的反応の関係性からの検討 |
| 大阪公立大学 | 現代システム科学研究科 | かく 紅竹 | 日本に定住する中国人親子間におけるライフコースの選択をめぐる葛藤：親と子のライフストーリーから |
| 大阪公立大学 | 工学研究科 | 孫 術益 | 温度感受性抗体の開発とその分析化学的応用 |
| 大阪公立大学 | 工学研究科 | 松井 圭佑 | 分子性物質を基盤とした電子機能材料の開拓 |
| 大阪公立大学 | 工学研究科 | グエン・ティ・ハ・フォン | Ship roll damping analysis and improvement of empirical methods for roll damping calculation |
| 大阪公立大学 | 工学研究科 | 姚 凌波 | Study on slip load of frictional high strength bolt connection in various corrosive environments |
| 大阪公立大学 | 工学研究科 | 吉岡 舜 | マルチエージェントの導入による自律操船システムの高度化とその応用 |
| 大阪公立大学 | 工学研究科 | 加藤 拓也 | 高度頭脳化によるロボット自動溶接に向けた非線形力学サロゲートモデルの開発 |
| 大阪公立大学 | 工学研究科 | 絹笠 瑞基 | 機械学習を用いた水槽試験法の精緻化と転移学習による任意船型流体カサロゲートモデルの構築 |
| 大阪公立大学 | 工学研究科 | 木元 剛士 | 形態変形・分離結合可能なヘビ型ロボットの開発 |
| 大阪公立大学 | 工学研究科 | 胡 誉騰 | 大気吸込み式プラズマジェット推進に関する研究 |
| 大阪公立大学 | 工学研究科 | 張 博雲 | 時間領域分解に基づく近似解法を用いたエネルギー貯蔵・供給システムの長期間運用計画 |
| 大阪公立大学 | 工学研究科 | 白数 夏生 | 旧日本軍の建築設計と営繕体制について |
| 大阪公立大学 | 工学研究科 | ニコラス・エコ・サブトラ | VR技術を用いた南海トラフ巨大津波の避難シミュレーションを通じた学習効果に関する研究 |
| 大阪公立大学 | 工学研究科 | 李 若曦 | エンドプレート接合を用いた仮設栈橋に関する研究 |
| 大阪公立大学 | 工学研究科 | 頼 健鵬 | 新設橋梁における高力ボルト摩擦接合継手のすべり耐力の確保に関する研究 |
| 大阪公立大学 | 工学研究科 | 肥後 佑平 | グラフニューラルネットワークによるウェザールーティング手法の提案 |
| 大阪公立大学 | 獣医学研究科 | 高見 優生 | ワンヘルスへの貢献；腸内細菌叢の変化がもたらす肝障害の動物種横断的なメカニズムの解明 |
| 大阪公立大学 | 獣医学研究科 | 小野 尚重 | 肝線維化病態におけるNa ⁺ /Ca ²⁺ 交換輸送体による新規調節機構の探索について |
| 大阪公立大学 | 獣医学研究科 | 志々田 康平 | イヌのスーパードナー由来iPS細胞を用いた膵臓β細胞の作製 |
| 大阪公立大学 | 獣医学研究科 | 井上 愛依子 | 自然免疫を基軸としたウシ呼吸器感染症予防法の開発 |
| 大阪公立大学 | 情報学研究科 | ペーノンエリックマイケル | Classification Systems; Accuracy and Interpretability |
| 大阪公立大学 | 生活科学研究科 | 天谷 宙詩 | 福祉サービスのアクセシビリティ改善に向けた基礎研究 |
| 大阪公立大学 | 生活科学研究科 | 王 暁鋭 | 構築環境が睡眠に及ぼす影響：非接触睡眠計測方法に基づく研究 |
| 大阪公立大学 | 生活科学研究科 | 橋本 健太郎 | 都心居住地及び住宅の変遷と計画手法の系譜に関する研究 -大阪長屋によるまちなみと空間構成を対象として- |
| 大阪公立大学 | 生活科学研究科 | 李 阜陽 | アジア圏集合住宅団地に住んでいる子どもの移動自由性の比較 |
| 大阪公立大学 | 生活科学研究科 | ル ユイ | 日中社会保障システムの比較研究—健全な社会の持続可能性の視点から— |

| 所属大学 | 所属研究科 | 名前 | 研究題目 |
|--------|-------|--------|---|
| 大阪公立大学 | 農学研究科 | 永井 翔大 | タバコ種間交雑における生殖隔離に関する研究 |
| 大阪公立大学 | 農学研究科 | 松本 朋子 | アクチン脱重合因子の植物細胞核内における機能解析 |
| 大阪公立大学 | 文学研究科 | 石本 雅之 | ナショナリズム浸透期における多文化共生維持のメカニズム（ロシア帝国統治下の南コーカサス地方を中心に） |
| 大阪公立大学 | 文学研究科 | 石田 将大 | 16世紀関東における自然環境と支配 |
| 大阪公立大学 | 文学研究科 | 上野 志保 | 仕事と家庭の両立におけるコンフリクト解決に向けた方策の検討ー育児期に焦点を当ててー |
| 大阪公立大学 | 文学研究科 | 和田 真季 | 教員集団内における心理的安全性が生み出されるメカニズムと教員への影響に関する研究 |
| 大阪公立大学 | 文学研究科 | 朴 洸弘 | 総力戦体制下のナショナル・アイデンティティーの形成と動揺 |
| 大阪公立大学 | 文学研究科 | 山本 勇人 | 小林秀雄に関する総合的研究 |
| 大阪公立大学 | 文学研究科 | 董 媛 | 宋代江南市鎮社会の構造 |
| 大阪公立大学 | 文学研究科 | 中納 雅司 | 古代国家の地方支配と地方僧官 |
| 大阪公立大学 | 文学研究科 | 西澤 徹臣 | 自由意志論の概念は受容可能かーメタバースを使った検証の試み |
| 大阪公立大学 | 文学研究科 | 小森 紗季 | 14世紀初頭南仏の異端審問記録に見るカトリック派伝播と被告人の紐帯 |
| 大阪公立大学 | 文学研究科 | 外柳 万里 | 遠隔地避難者支援と災害公営住宅支援からみる支援理論に関する考察 |
| 大阪公立大学 | 文学研究科 | 呉 長憶 | 高・低コンテキストと適応能力の関係：日本人、中国人、米国人に対する調査 |
| 大阪公立大学 | 文学研究科 | 西田 翔子 | ヨーロッパの大学で日本語・日本研究を専攻する学生は、どこから来て、どこへ向かうのか：学習動機・背景、および、社会文化的影響に関する実証研究 |
| 大阪公立大学 | 文学研究科 | 天野 沙織 | 日仏ワインテイストの社会的機能の分析ー食をめぐる言説分析を通してー |
| 大阪公立大学 | 法学研究科 | 津禰鹿 雅博 | 経営判断原則 |
| 大阪公立大学 | 法学研究科 | 楊 建陽 | 社会関係資本がポピュリスト急進右翼政党支持に与える影響 |
| 大阪公立大学 | 理学研究科 | 松本 健 | FPGA上に実現する傾斜型ADCを用いた電波分光計の開発 |
| 大阪公立大学 | 理学研究科 | 瀬川 夕海 | 集光フェムト秒レーザーの時空間制御による神経情報伝達機構の解明 |
| 大阪公立大学 | 理学研究科 | 城垣 徹 | 雑種タンポポの拡大メカニズム |
| 大阪公立大学 | 理学研究科 | 倉内 郁哉 | 特異的糖鎖転移酵素の基質認識機構解明とその機能開発 |
| 大阪公立大学 | 理学研究科 | 井上 喜来々 | 肝細胞と肝星細胞との細胞膜を介した直接的な細胞間相互作用 |
| 大阪公立大学 | 理学研究科 | 井上 諒一 | タンガニカ湖産カワスズメ科魚類における親子間音声コミュニケーションに関する研究 |
| 大阪公立大学 | 理学研究科 | 鳥井 雅之 | ATPaseモチーフを有する細菌由来プロテインキナーゼの構造機能解析 |
| 大阪公立大学 | 理学研究科 | 日高 諒 | 協同繁殖魚Neolamprologus savoryiの繁殖ペアによるヘルパーへの罰と手伝い行動 |